

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）札幌林業土木協会

活動内容	ポロトキャンプ場の施設整備
1 実施年月日 : 令和7年7月8日（火） 2 実施場所 : 北海道白老町 白老国有林 胆振東部森林管理署管内 ポロト自然休養林 3 参加会員数 : 胆振東部管理署2名 会員企業22社26名及び事務局1名 計29名 4 活動内容	胆振東部森林管理署が管理する苫小牧市周辺の63千haの国有林の中でもポロト湖周辺のポロト自然休養林（395ha）は、豊かな森林と湖に囲まれたエリアです。整備された散策路では四季折々の景色を楽しむことができ「民族共生象徴空間ウポポイ」を中心としたアイヌ文化発信の拠点でもあります。 これに隣接するキャンプ場周辺は国有林であり、キャンプ場内には木製テーブルや木製ベンチが設置されていますが、老朽化が進んでいました。 そこで、胆振東部森林管理署と当協会が相談し、昨年から木製テーブルと木製ベンチの交換を行っており、今年も昨年に引き続いて老朽化したテーブル3台とベンチ6台を撤去し、新規に設置しました。 キャンプ場利用者からは、キャンプ場の関連施設整備に関する要望があることから、当協会では地域のニーズに応える社会貢献活動を引き続き行う予定です。
活動写真	 中島ボランティア委員長あいさつ  振東部森林管理署長のあいさつ



老朽化したテーブル・ベンチの撤去



1 班完成



テーブル・ベンチの組み立て



2 班完成



取り付け



3 班完成

白老でベンチ取換

札幌林業土木協会が整備

【苫小牧】札幌林業土木協会は8日、白老町内にあるポロト自然休養林のキャンプ場で、老朽化したテーブルとベンチを取り換えた。会員22社から26人が参加し、利用者が安心できる環境を整備した。

冒頭、中島功治ボラン



ティン委員
長が「暑い
日が続いて
いる。熱中
症に気を付
けて作業を
しよう」と
あいさつ。
胆振東部森
林管理署の
玉館力憲長
は「毎年の
ボランティ
アに感謝し
たい。利用者
と町内の活
性化につなが
っている」と
話した。

参加者は3班に分かれて作業。損傷の激しいテーブル3基とベンチ6基を取り外し、新品に取り換えた。

自然休養林は民族共生象徴空間(ウポポイ)に隣接。環境維持活動は今回で7年目となった。

苫小牧民報 令和7年7月12日(土)

テーブルとベンチ整備

自然休養林で
ボランティア

札幌林業土木協会



ベンチやテーブルを整備する
会員企業の社員ら

キャンプ場でボランティア作業を行い、老朽化したベンチとテーブル3台を交換した。札幌、空知、日高北部、日高南部、胆振東部の各支部から会員企業22社26人が参加。インパクトドライバーなどの工具を使い、経年劣化した木製ベンチやテーブルの撤去と設置を分担して行った。

同協会の中島功治ボランティア委員長は開会式で「例年は紅葉の時期に実施していたが、今年は夏休み前に整備することで、利用者の快適な活動につながる」とあいさつ。「安全と熱中症対策を徹底して取り組んで」と呼び掛けた。

来賓の玉館力胆振東部森林管理署長は、同休養林の2024年度来場者が約1万8000人、近接するウポポイが約32万人に上ることに触れ、「地域の観光拠点としての整備は意義深い」と感謝を述べた。

同協会は18年度から、同林のカープミラーや遊歩道などの整備を続けている。